

25京産大学室第1023号
平成25年3月29日

文部科学大臣 殿

大学等の設置者 (名称) (所在地) (代表者名)	学校法人 京都産業大学 京都市北区上賀茂本山 理事長 柿野 欽吾 (記名押印又は署名)
大 学 等 名	京都産業大学

平成 2 5 年度国際化拠点整備事業費補助金
(グローバル人材育成推進事業) 交付申請書

国際化拠点整備事業費補助金交付要綱第 4 条第 1 項の規定により、次のとおり国際化拠点整備事業費補助金 (グローバル人材育成推進事業) の交付を申請します。

プログラム名称(選定年度)	グローバル人材育成推進事業 (タイプ B 特色型) (平成24年度)	
事業名称	京都産業大学 グローバル人材育成推進事業	
国庫補助金交付申請額	90,650千円	
補助事業の目的・内容等	別紙のとおり	
補助事業の完了予定日	平成26年 3月31日	
事業推進担当者	氏名	所属・職名
事業推進代表者		
事業推進責任者		
会計事務担当者名	所属・職名	連絡先(電話番号、FAX番号、e-mailアドレス)

様式1 (第4条第1項関係)

(別紙)

補助事業に要する経費		
補助対象経費の総額	補助金額(申請額)	自己収入その他の金額
90,650千円	90,650千円	0千円(内訳:)
補助対象経費	金額(千円)	積算内訳
物品費	1,757	【消耗品費】 1,757千円
人件費・謝金	51,958	【人件費】 47,304千円 【謝金】 4,654千円
旅費	6,259	【国内旅費】 1,950千円 【外国旅費】 2,800千円 【講師招聘旅費】 1,415千円 【市内交通費】 94千円
その他	30,676	【外注費】 12,977千円 【印刷製本費】 1,575千円 【通信運搬費】 57千円 【その他(諸経費)】 16,067千円
合計 +	90,650千円	
補助事業の目的・必要性		
<p>(全体)</p> <p>本補助事業の目的は、「グローバル社会で活躍する理系産業人の育成」である。その人材像は、具体的に次の4つの要素からなる。第一に「チャレンジ精神と主体性を持つ若者」、第二に「専門領域に関する確かな知識を持つ若者」、第三に「確かな語学力と異文化受容力を持つ若者」、第四に「自らの存在と母国に自信と誇りを持つ若者」である。</p> <p>その人材像を達成するために、本取組みでは3つの柱からなる「理系産業人養成プログラム」を構築する。第一に「理系3学部と外国語学部の連携による異文化対話能力を育てるプログラム」、第二に「学内外の学びの融合によるチャレンジ精神を植えつけ、主体性を育てるプログラム」、第三に「確かな技術を持つローカル企業のグローバル化に貢献する志を育てるプログラム」である。</p> <p>日本の企業行動を見ると、アジア諸国とのつながりが圧倒的に高まっている。本取組みでは、育成すべき人材像に掲げた「チャレンジ精神と主体性を持つ若者」を育てるために、アジア諸国を対象とした産学協働教育に着目し、その開発に当たっては同窓会組織との連携を一層進めていく。グローバル化した世界の中で、日本が揺るぎない地位を維持していくためには、一握りの指導者や企業人だけでなく、規模は小さくとも、確かな技術力を持った中小企業や幅広い民間レベルの国際交流が必要不可欠である。本補助事業は、本学の産学協働教育の蓄積を活かし、グローバル中堅層の拡充の必要性に応えることができる。</p> <p>本補助事業では、学士課程教育における教学マネジメントを確立する上で不可欠となる教育重点型教職員を育成することも目的であり、従来の教員と職員という二分法にとらわれない職域の開拓は、今後多くの大学への波及効果が見込めるものである。米国の</p>		

大学では、教員と職員の境界に位置する専門職が大学改革の推進力になっており、本取組みは「日本型教育専門職」のパイロット・モデルを示すことができる。

これらのことより、理系産業人だけにとらわれず、本事業で得られた知見をもとに、専門性を人文、社会科学系へと変化させていくことで、新分野の産業人育成に拡張できるプランでもあり、全ての分野におよぶグローバル人材育成推進の取組みは、本学の建学の精神をまさに具現化するものであり、これは本学にとって永続的に取り組むべき事業である。

(本年度)

25年度の補助事業の目的を達成するため、本事業に関する各種プロジェクトチームを組織し、次のように事業を実施する。

(a)グローバル化推進プロジェクトチーム(親プロジェクトチーム)

[1] 4月～3月 グローバル人材育成推進事業の推進及び各プロジェクトチームの総括

(下記()を付記したタスクに関する予算調整を含む)

(以下、(b)～(g)まで、下部プロジェクトチーム)

(b)入学グローバル化 プロジェクトチーム

- [2] 4月～3月 外国語学部改組に連動した入試制度改革の検討
 [3] 6月～ 本学附属高校での英語教員研修の実施の検討()
 [4] 5月～ 入試委員会の規定を含めた制度的側面の検討()
 [5] 8月～ 入学時から卒業時までの学生情報の一元化の検討()
 [6] 4月～9月 カリキュラムと一貫性のある入学前教育の検討()

(c)ラーニングコモンズ/グローバルビレッジ プロジェクトチーム

- [7] 4月～7月 京都産業大学版ラーニングコモンズ(グローバルビレッジ含む)調査及び設計()
 [8] 9月～3月 既存のラーニングコモンズを利用したアクティブ・ラーニング授業の試行
 [9] 9月～3月 京都産業大学版ラーニングコモンズ運用開始

(d)グローバルサイエンスコース/グローバルキャリアコース プロジェクトチーム

- [10] 4月 理系3学部でキャリアガイダンスを実施
 [11] 4月～3月 同窓会との連携による海外拠点調査 - 東アジア・東南アジア等海外拠点の調査()
 [12] 4月～3月 産業界・同窓会組織を活用した理系インターンの拡充(理系3学部インターン履修率の向上にむけた取組みの検討)()
 [13] 4月～3月 帰国留学生の学生FDスタッフへの採用
 [14] 4月～3月 短期語学実習の現状調査及び改善検討
 [15] 4月～3月 帰国留学生の就職マッチング強化施策の検討
 [16] 4月～3月 理系英語の学習を目的とする短期留学や海外招聘教授夏期集中講義の理系学部専門カリキュラムへの試行・検討

(e)調査・研究 プロジェクトチーム

- [17] 7月 各学部実施の授業アンケートの分析、ディプロマ・ポリシーの反映検討と提案
 [18] 12月 外部評価委員会を実施(第1回)
 [19] 3月 『高等教育フォーラム』の発行
 [20] 4月～3月 公開シンポジウム「高等教育フォーラム【仮称】(FD編)」の実施(1回)
 [21] 4月～3月 公開シンポジウム「高等教育フォーラム【仮称】(SD編)」の実施(1回)
 [22] 4月～3月 高等教育レファレンスルームの整備

(f)事務グローバル化 プロジェクトチーム

- [23] 4月 学内文書・シラバス英文化推進チームの発足
 [24] 4月～3月 グローバル水準に見合う大学職員の職能開発の検討
 [25] 4月～3月 高等教育専門職員・ラーニングコモンズコーディネータ等の専門スタッフの雇用

- [26] 5月～3月 専門スタッフに関する人事評価・制度改善に関する研究
- [27] 3月 教育情報のホームページ改訂
(数値データの蓄積と可視化、教育情報公表基準への対応、データに基づく教育改善の情報公開、定性的教育情報の重点発信)()
- [28] 4月～3月 事務職員の職能開発を目的とした他大学調査
- (g) 教学グローバル化 プロジェクトチーム**
- [29] 4月 教学面から英文化の優先度が高い文書(履修要項等)の検討
- [30] 4月～12月 科目ナンバリングに関する先進事例調査()
- [31] 4月～ 1年次生TOEIC受験の義務化及び帰国留学生のTOEIC受験フォローアップ(TOEICスコア伸び率公表を含む)の実施
- [32] 4月～ ティーチング・ラーニングポートフォリオ開発・moodleを利用したポートフォリオのパイロット導入()
- [33] 3月 モバイル対応・自習英語システム開発()
- [34] 4月 全学共通新英語プログラム8単位必修化及びKSU英語プログラムの実施
- [35] 12月 KSU科目と社会問題科目開講要領の決定

本年度の補助事業実施計画

【平成25年度】

- 入学生へのプレイスメントテストの必修化(TOEIC)【H25-P35-本構想 4行目】
- 1年次生へのTOEIC試験の義務化【H25-P35-本構想 18行目】
- モバイル対応自学自習英語システムの開発【H25-P21-本構想 35行目】
- 東アジア・東南アジア等海外拠点の調査、協定校との調整【H25-P24-本構想 27行目】
- 国内外ネットワーク(理系企業を中心)の構築【H25-P24-本構想 27行目】
- 海外のIS先企業開拓・協定校の調査など【H25-P25-本構想 8行目】
- ラーニング・コモンズ(H25-P25-本構想 15)グローバル・ビレッジの設置・留学生との交流促進(留学生支援)【H25-P6-23行目】
- 教育情報の段階的公開【H25-P22-本構想 2行目】
- グローバル・ジャパン・プログラムの充実【H25-P36-本構想 14行目】
- 短期語学研修制度の時期・経費などの改善【H25-P32-本構想 18行目】
- 成績評価の基準の可視化【H25-P21-本構想 38行目】
- 海外アドバイザー【H25-P37-34行目】
- 外部評価委員会の開催【H25-P37-34行目】
- 科目ナンバリングの開始(外国語学部予定)【H25-P21-本構想 4行目】
- ポートフォリオの開発・パイロット導入【H25-P40-8行目】
- 奨学金制度の充実【H25-P32-本構想 36行目】
- 教育専門職員等の雇用9名【H24-P29-本構想 14,P22-本構想 35,P19-本構想 33行目】
- 事務組織体制の構築・グローバル化推進室の設置【H25-P38-21行目】
- 事務職員の外国語力養成【H25-P23-本構想 38行目】

次年度以降の予定スケジュール

【平成26年度】

- 入学生へのプレイスメントテストの必修化(TOEIC)【H25-P35-本構想 4行目】
- 1年次生へのTOEIC試験の義務化【H25-P35-本構想 18行目】
- モバイル対応自学自習英語システムの開発【H25-P21-本構想 35行目】
- 東アジア・東南アジア等海外拠点の調査、協定校との調整【H25-P24-本構想 27行目】
- 国内外ネットワーク(理系企業を中心)の構築【H25-P24-本構想 27行目】
- シラバス(学修支援書)・履修登録システムの改善【H26-P21-本構想 30行目】
- 教育専門職員等の雇用【H25-P29-本構想 14行目】、
- 外部評価委員会の開催【H25-P37-34行目】
- 科目ナンバリングの開始【H25-P21-本構想 4行目】
- ポートフォリオの開発【H25-P40-8行目】
- 奨学金制度の充実【H25-P32-本構想 36行目】

【平成27年度】

入学生へのプレイスメントテストの必修化（TOEIC）【H25-P35-本構想 3 行目】

1 年次生へのTOEIC試験の義務化【H25-P35-本構想 18 行目】

モバイル対応自学自習英語システムの開発【H25-P21-本構想 35 行目】

東アジア・東南アジア等海外拠点の調査、協定校との調整【H25-P24-本構想 27 行目】

国内外ネットワーク（理系企業を中心）の構築【H25- P25-39 行目】

理系用短期留学プログラムの設置【H27-P24-本構想 33 行目】

外部評価委員会の開催【H25-P37-34 行目】

科目ナンバリングの開始【H25-P21-本構想 4 行目】

ポートフォリオの開発【H25-P40- 8 行目】

奨学金制度の充実【H25-P32-本構想 36 行目】

【平成28年度】

入学生へのプレイスメントテストの必修化（TOEIC）【H25-P35-本構想 3 行目】

1 年次生へのTOEIC試験の義務化【H25-P35-本構想 18 行目】

モバイル対応自学自習英語システムの開発【H25-P21-本構想 35 行目】

東アジア・東南アジア等海外拠点の調査、協定校との調整【H25-P24-本構想 27 行目】

国内外ネットワーク（理系企業を中心）の構築【H25- P25-39 行目】

外部評価委員会の開催【H25-P37-34行目】

科目ナンバリングの開始【H25-P21-本構想 4 行目】

ポートフォリオの開発【H25-P40- 8 行目】

奨学金制度の充実【H25-P32-本構想 36 行目】

グローバル人材推進事業最終報告会【H28-P37-43 行目】